

## 町政報告会(R5.7.21～31)質疑応答

令和5年7月21日から31日にかけて開催しました町政報告会で寄せられたご意見・ご質問に対しまして、回答をまとめましたので報告します。

項 目	質問・意見等	回 答
運動公園整備事業について	事業費は当初予定していた45億円からどれくらい増加する見込みか。またその財源は。	人件費や建設資材等材料費の高騰などの要因により、当初の予定よりも1割ほど増加し、約50億円となる見込みです。 また、本事業は都市計画税と国の交付金を財源とした都市計画事業です。これまで交付金は想定以上の額をいただいております、都市計画税と交付金で賄える見込みです。
	完成後のランニングコストはどれくらいか。	運動公園の維持管理費と交流人口増加のための運営費併せて2,500～3,000万円/年となる見込みです。
	完成後、多くの人に利用してもらえる見込みは。また、そのための施策は。	普段は住民の方、スポーツ協会の方はもちろん、日本福祉大学及び付属高校に隣接しているため、学生・生徒の方の利用を見込んでいます。また、対外試合や競技会、記録会等を誘致するため、愛知陸上競技協会と協議をしています。その他合宿誘致を県内外に発信しています。
	交流人口が増加することで車の通行量も増加することが予想される。町道奥田・河和線(農免道路)を整備する際に歩道を設置してほしい。また、知多奥田駅からの町道森越・石坂平井線と町道奥田・河和線(農免道路)との交差点に信号を設置してほしい。	町道奥田・河和線(農免道路)の整備につきまして、差し当たっては運動公園に面する道路を整備します。その後整備する東側の恋の水神社への道路につきましても拡幅、歩道設置が必要であると考えています。また、交差点への信号設置につきましては、警察・公安委員会へ信号設置を含めた協議をする予定ですが、どのような規制となり、信号設置が必要となるかどうかは町では決められませんのでご理解ください。しかし、地元の方からの要望があったことは伝えさせていただきます。
	町民の健康増進のための施策は。	遊具広場への子供用遊具に加え、健康遊具の設置を計画しています。また、町で実施しているみはま健康マイレージ事業も活用できたらと考えています。そのほか、運動公園を含めたハイキングコースやウォーキングコースを提案出来たらと考えています。
総合公園拡張事業について	美浜町の現状において実施しないといけない事業なのか。	町民の方の健康増進のほか、交流人口の増加による町の活性化を図るために必要な事業であると考えています。
学校再編について	地域とのつながりが減り、児童・生徒が地域で学ぶ機会が減ってしまうことについてどのように考えるか。	地域とのつながりが減ってしまうことについては、コミュニティ・スクール制度を活用し、地域、学校、保護者が協力し合える仕組みを作りたいと考えています。今後、ワークショップ等で検討していきます。

学校再編について	今後開催されるワークショップの参加について、一般公募を行うか。	募集方法はまだ決まっていますが、一般の方の参加も考えています。また、今年度は建設場所がある程度決まった中でのより具体的な内容のワークショップにし、住民の方の意見を取り入れたいと考えています。
	小中一貫校について説明する機会をもっと増やしたらどうか。	夜間の説明会では参加できない保護者の方もみえるかと思しますので、次回の説明会では日中の開催も検討しています。また、説明会の動画配信のPRも行っていきたいと考えています。
	学校再編をする原因となっている少子化について、どのような対策を行っているか。	少子化の1番の原因は子供を育てる若い世代が少ないことであると考えます。そのためには若い世代に子供を育てる場所として美浜町を選んでいただけるよう、給食費の減免や保育所の紙おむつ支援等子育て支援に力を入れています。
	学校再編住民説明会において、住民は建設場所への関心が高かったが、町としての印象は。	建設場所の候補として日本福祉大学周辺、町中央部、人口の多い河和地区を挙げていますが、説明会に参加された方は大学周辺か河和地区がよいという意見が多いと感じました。今後費用面も含めて検討し、説明会を開催したいと思します。
新型コロナワクチン接種状況について	接種後の副反応について把握しているか。	全ては把握しておりませんが、ご相談いただいた件につきましてはお話を伺い、副反応の対応を行っています。
水道料金改定について	平均的な家庭でいくらかの値上げとなるのか。	家族構成や利用している水道メーターの口径等で違いはありますが、4人家族で口径13mmの水道メーターを利用し、2か月で60m3の水を使用している家庭を例としますと、2か月で現状約8,600円から約1,800円の値上げとなる見込みです。
	美浜町の水道料金は近隣市町と比較すると、どのくらいの位置にいるのか。	水道料金の計算方法が市町により異なるため、一概に比較はできませんが、ある一定量使用した場合で比較すると、本町は真ん中くらいです。今回の値上げにより高くなりますが、近隣市町を含め全国的においても値上げの傾向にあります。
	資料から累積黒字があると思われるが、それを踏まえると一気に20%の値上げではなく、もっと段階的にできないか。	累積黒字はありますが、それを取り崩していくと大規模災害時に復旧作業等対応ができなくなるため、最低8億円は保持しておきたく、また、耐震化工事を進めていくために必要な値上げ幅であると考えています。
	水道管の耐震化完了後は今回の値上げは解消されるのか。	町内の配水管は全部で200kmあり、そのうち口径200mm以上の基幹配水管は35kmです。阪神淡路大震災以降、配水管の耐震基準が変わってきており、現在の基準での基幹配水管の耐震化率は9.4%です。令和10年度までに耐震化率14%を目標としており、耐震化が完了するのは当分先となります。逆に人口減少等により今後も定期的な値上げが必要となると予測しています。